

云ふ、又今回の日露交戦に際しても博士は日本歩兵の必ず露國歩兵よりも體質上より優勝なるべきを豫言し居たりと、因に博士は赤城登山を試むるに際し數日間菜食して其耐久力を自驗したる事あり云ふ

編輯局よりの

▲春すぎ夏去り秋來つて、遂に年の暮は來り申候讀者諸姉諸君、いよく御清適、先は目出度存じ候、何がさて、筆硯多忙、思ひなからも御無音にうらすぎ、其申譯までに、久々にて一筆啓上仕り候。

▲新聞紙にて既に御承知の事と存じ候へども、女子高等師範學校生徒監、山川二葉刀自には、先般辭職致され候。御存じの如く、刀自は明治十年よ

り、生徒監として、今日に至るまで其間二十七年の久しき、寄宿舎訓練の任に當られ、詢々として倦まず撓まず、身を以て生徒を率ゐ、實に本邦女子訓練の範を興へられ候功は決して没すべからず、今回御老體の故を以て職を辭せられ候に付き、全校長も深く惜まれ候由に候へども、事情致し方なかり候にや遂に、其職を免せらるゝに至り候、而して其際特旨を以て位二級進められ、尙は先月、

▲全校教授 飯盛氏の勅任に榮進せられ候に付き、刀自の送別會と兼ねて祝賀の會を、職員一同にて開かれ候時分校長はかねて久保田文部大臣より、刀自に向つて送られし感謝狀を、朗讀致され候由。左に其書狀を寫して御覽に入れ候。

貴下が明治十年初めて職を女子高等師範學校舎

監に奉ぜらるゝや本邦女子寄宿舎の制度猶草創に屬し該校寄宿舎の良否は將來に於ける女子寄宿舎の發達に至大の影響を及ぼすべき時にして其任たる頗る重大なりき而して貴下此重任に膺り能く學校長を助け奮に泥まらず新を趁はず以て今日の發達を見るに至らしめ延て全國の女子寄宿舎をして矜式する所あらしむるに至りしは其功勞大なりと云ふべし實に貴下が該校創始の際より今日に至るまで二十有七年の久しき終始一日の如く其職務に勵精し至難なる女子教育に貢獻せられたること多きは以て他の模範と爲すに足る今や貴下老體の故を以て其職を去らるゝも貴下の培養に成れる燦然たる美果は永く女子高等師範學校の寄宿舎に存すべく貴下多年の勤勞は報ゆる所ありと云ふべし本官は茲に一言を贈り謝意を表す

▲貴下、明後二十九日は、同校設立開校紀念式舉行の由に候。今日は前面の附屬高等女學校運動場を會場に於て、全校及附屬校園生徒児童幼兒を集

め尙在京の全校卒業生をも招待可致候由、今回は第一回のとて、随分盛なるべきかと存じ候尙全日午後よりは如蘭會の總會も可有之由、當日は其他尙生徒間にさまゝの催も可有之と存じ候、何れ他日御報導の機會も可有之と存候。

▲來年四月入學せしむべき本校生徒各科に二十五名はもはや募集すみと相成り候。本月中旬には附屬幼稚園及小學校の幼兒生徒の募集可有之と存じ候。因に申上候。來年度より入學又は入園すべき生徒幼兒に對しては、それ〱月謝を引き上げ、高等女學校は貳圓五十錢、小學校第一部は貳圓、幼稚園は壹圓五十錢と相成るべき由、事務局の影響かと存じられ候。

▲先月及先々月は、運動會の好時季とて、當市の各女學校とも、随分盛に催し有之候。然も、小生

の見る所に由れば、追々、華美に流れ、何やら、一般の觀覽物、見せ物的に流れたるやの傾有之候は、一考を要すべき事ならずやと思はれ候。

▲何かと申し居り候中に、鳥兔早々、本年も既に餘日之なく相成り候。本誌も微力ながらも、これに第五歳の齡に達し候へば。更に一層の奮勵を以て斯道に盡瘁致したる覺悟に候。先は之にて擱筆可仕。餘は永陽の時を期し候早々。(十一月廿五日)

新刊紹介

▲英學生 月二回發行 發行所 東京小石川區小日向臺町三ノ七二東西社

初歩の英學研究者に實用的英語の練習を指導する雜誌で、何しろ一部定價二錢五厘といふのだから非常の評判である。中は詳しくも言ふには及ばぬ。廉價で、面白くつて、實用的で、よく出來た雜誌

だ、編輯者は、萬朝報英文擱擔當の山縣氏と斯波氏とである。

▲運動會 月一回發行 發行所 下谷區谷中一日本遊戯調査會

其名の示す如く運動普及の目的で、先月新に生れた雜誌で、定價も僅に三錢五厘といふ廉價であるが、夫にしては、中々よく出來て居る、いろ／＼遊戯の面白いのもあり、挿繪も惜氣なく這入つて居る。だん／＼遊戯、運動の奨勵せられる今日、吾人は其健全な發達を祈るのである。

▲幼稚園掛圖 一輯六枚 發行所 大阪東區島町一ノ九三天眞堂

幼稚園保育には、何をやるにつけても繪畫が必要なのであるが、これまで、特に幼稚園の爲にとて出來た掛圖がないので、或は小學校の修身用の間で合はせたり、又は不充分ながらも、各自でこしらえたりして居たのである。然るにこの掛圖はこの缺點を補はん爲に態々出來たので、金太郎に舌切雀に、浦島太郎に、兎と龜、兵卒と看護婦、朝顔の花の六枚一組として居る、これは、大阪の幼稚園の先生方のいろ／＼工業の末に出來たとい